

中小企業 いばらき

CONTENTS

クローズアップ	1
ニュースフラッシュ	8
インフォメーション	11
日本列島組合最前線	13
Voice	15
業況レポート	16
中央会だより	18

December

12

2022 No.770

クローズアップ

第74回中小企業団体全国大会

“つながる ひろげる 連携の架け橋 ～希望の未来 中小企業「光」を結集～”



写真 第74回全国中小企業団体全国大会
(写真紹介、記事は表紙裏ページに掲載)

株式会社常陽銀行のお取引様へ



常陽銀行



GMO
PAYMENT GATEWAY

常陽売掛金保証サービス by GMO

倒産・未入金による売掛金未回収リスクを肩代わりし、
営業活動に専念できる環境づくりを支援いたします!

ご利用方法

ご利用をご検討の場合、商品の保証内容やご利用の手続きまたはお見積り等、**取次店(常陽銀行)**より詳細なご説明にお伺いします。
詳しくは**取次店(常陽銀行)**またはGMOペイメントゲートウェイまでお問い合わせください。
本サービスご利用にあたって必要な資料は以下URLよりダウンロードお願い致します。
<https://www.gmo-pg.com/sep/joyo/>

お問い合わせ先

株式会社常陽銀行

各支店担当者まで

GMOペイメントゲートウェイ株式会社

TEL 03-5784-3610

本サービスはGMOペイメントゲートウェイが提供するサービスで、常陽銀行はその取次を行うものです。

表紙の紹介

『第74回 中小企業団体全国大会』

主催 全国中小企業団体中央会 長崎県中小企業団体中央会

11月10日、長崎県長崎市の出島メッセにおいて「第74回中小企業団体全国大会」が開催され、来賓や全国の中小企業組合の代表者ら約2,000名が参加した。

全国大会は、毎年1回、全国の中小企業団体の代表者等が一堂に会し、その決意を内外に表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の確立を訴え、組合組織を基盤にして中小企業の持続的な成長と豊かな地域社会を実現することを目的として開催。中小企業者や中小企業組合の総意を取りまとめ、その実現に向けて一丸となり取り組むことを決議する場となっている。

開会に先立ち行われたオープニングアトラクションでは、長崎らしい演出として、「鯨太鼓(しゃちだいこ)」の演奏と、踊りながら瞬時に仮面を変えていく中国伝統芸能の「変面」の演舞が披露された。

また、全国各地から訪れる参加者のために、会

場内の「稲佐山プロムナード」で物産コーナーが設けられ、菓子やうどんなど、長崎県の特産品の販売が行われた。

なお、本県からは31名が参加、また、本会では、大会参加と観光等を盛り込んだ「第74回中小企業団体全国大会 茨城県中央会 長崎ツアー」を企画。阿部会長はじめ20名が参加して親睦を深めた。

大会の概要は「クローズアップ(1ページから6ページ)」をご覧ください。

【表紙写真の紹介】

上 第74回中小企業団体全国大会

左下 物産コーナーの様子

中央下 アトラクション(銀野町鯨太鼓)

右下 アトラクション(中国伝統芸能 変面)

第74回 中小企業団体全国大会

11月10日、長崎県長崎市の出島メッセ長崎において、全国から約2,000名の中小企業組合の代表者らが参加（本県からは31名が参加）し、「第74回中小企業団体全国大会」が開催されました。

大会は、「つながる ひろげる 連携の架け橋～希望の未来 中小企業「光」を結集～」をスローガンに掲げ、中小企業・小規模事業者等の経営強靱化・成長促進支援等の拡充、労働・雇用・社会保険料対策の推進、積極的な事業活動を支える環境整備等35項目の要望事項を基に、大会決議案を採択しました。本号では、同大会の概要、採択された大会決議等を紹介합니다。

I 第74回中小企業団体全国大会の概要

1. 開催の目的

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中小企業・小規模事業者の経営は極めて厳しい状況に直面している。ポストコロナに向けて中小企業組合等連携組織による一層の団結が必要になっている一方で、ウクライナを取り巻く不安定な情勢の深刻化が懸念され、物価や原油価格を押し上げ、物流確保が困難になるなど新たな経営課題に直面している。

しかしながら、地域経済の根幹となる中小企業・小規模事業者はポストコロナに向けて一歩でも前に力強く前進する必要があり、そのためには、これまで以上に中小企業組合等連携組織による団結と柔軟な対応がなければ、日本社会ひいては世界全体からのニーズや期待から取り残される結果になってしまいかねない。

中小企業・小規模事業者が変化する時代のあらゆる難局を現在まで乗り越えられたのは、同志が集まり、連携することができる中小企業組合等連携組織の絆の輪があったからであり、その強みをこれからも最大限に発揮し、時代を切り開く「光」であり続けなければならない。

ここに、中小企業・小規模事業者の発展を図ることを目的として、全国3万組合等の総意を表明するとともに、次のテーマを掲げ、第74回中小企業団体全国大会を開催した。

<第74回中小企業団体全国大会のスローガン>

つながる ひろげる 連携の架け橋
～希望の未来 中小企業「光」を結集～

2. 主催

- ・全国中小企業団体中央会
- ・長崎県中小企業団体中央会

3. 日時及び場所

- ・開催日時
令和4年11月10日（木） 14:00～16:30
- ・開催場所
「出島メッセ長崎」

長崎県長崎市尾上町4-1

4. 後援及び協賛

- ・後援
経済産業省、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、九州経済産業局、長崎県、長崎市、九州中小企業団体中央会連合会
- ・協賛
㈱商工組合中央金庫、㈱日本政策金融公庫、(独)中小企業基盤整備機構、(独)勤労者退職金共済機構、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、(公財)全国中小企業振興機関協会、(一社)全国信用保証協会連合会、(有)エヌ・エス・エイサービス

5. 大会プログラム

◇アトラクション

- 1 開会
- 2 国歌斉唱、団体歌斉唱
- 3 開会挨拶
- 4 開催地挨拶
- 5 歓迎挨拶
- 6 来賓紹介
- 7 来賓祝辞
- 8 議長・副議長選任
- 9 議事
(1)決議経過報告
(2)議案上程
(3)意見発表
(4)議案採決
- 10 大会宣言
- 11 表彰式
(1)優良組合
(2)組合功労者
(3)中央会優秀事務局専従者
- 12 次期開催地発表
- 13 大会旗継承
- 14 次期開催地会長挨拶
- 15 万歳三唱
- 16 閉会

II 第74回中小企業団体全国大会の内容

1. 開会挨拶

全国中央会の森洋会長は「新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵略等の影響により、中小・小規模事業者の経営は重大な悪影響を被るなど、厳しい状況が続く中、人手不足に悩んでいる中小・小規模事業者の事業と雇用を守る支援が必要になっている。

参加された皆様には、各地域の中小・小規模事業者の「光」が一層輝くよう、大会決議の実現に向けた原動力となるようお願いしたい」と述べた。



開会挨拶する
森全国中央会会長

2. 開催地挨拶

開催地会長挨拶では、石丸忠重長崎県中小企業団体中央会会長が「昨今の中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、長期化する新型コロナウイルス感染症や国際情勢の緊迫化に加え、急激な円安による影響等により、依然として厳しい状況にある。

このような時こそ、個々の自助努力はもとより、今一度相互扶助の精神と組織の力で課題解決に取り組むことが重要。

全国各地の中小企業・小規模事業者の同志がここ長崎に結集し、中小企業組合等の組織・連携の絆による創造性を発揮して、これからの時代を切り開く「光」であり続けることで、持続的な成長と豊かな地域社会が実現されることを強く期待したい」と述べた。



開催地挨拶する
石丸長崎県中央会会長

3. 歓迎挨拶 来賓祝辞

平田研長崎県副知事と田上富久長崎市長が歓迎の挨拶を行い、来賓紹介の後、多数の来賓を代表し、西村康稔経済産業大臣、野村哲郎農林水産大臣がビデオメッセージで、小林洋司厚生労働審議官、関根正裕商工中金代表取締役社長が祝辞を述べた。

<歓迎挨拶>



平田長崎県副知事



田上長崎市長

<来賓祝辞>



西村経済産業大臣
(ビデオメッセージ)



野村農林水産大臣
(ビデオメッセージ)



小林厚生労働審議官



関根商工中金
代表取締役社長

4. 議事、決議経過報告、議案上程、意見発表、議案採決、大会宣言

議事は長崎県中央会の石丸会長が議長に、福岡県中央会の桑野龍一会長、宮城県中央会の佐藤勲三郎会長が副議長となり進行。佐藤哲哉全国中央会専務理事が、前回大会で決議された要望事項について、国等への要望活動などの決議経過報告を行うとともに、本大会で決議する議案を上程した。

続いて、岡山県中央会の晝田真三会長の意見発表の後、「中小企業・小規模事業者等の経営強靱化・成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」などを柱とする35項目の決議と大会宣言が採択し、その後、長崎県中小企業団体中央会青年部の山下顕伸会長が声高らかに大会宣言を宣した。(5ページ参照)



議長及び副議長
(左から)宮城県中央会の佐藤会長、
長崎県中央会の石丸会長、福岡県中央会の桑野会長



決議経過報告する全国中央会の佐藤専務理事



意見発表する岡山県中央会の晝田会長



大会宣言する長崎県中央会青年部の山下会長

5. 表彰式、次期開催地（宮城県）の発表、大会旗継承、万歳三唱

中小企業組合の振興発展に貢献した優良組合40組合、組合功労者74名、中央会優秀事務局専従者27名の表彰が行われた。本県からは、優良組合として茨城県石材業協同組合連合会（富田政男会長）が受賞した。（5ページ参照）。

また、次期全国大会は、2023年10月11日（水）に宮城県仙台市で開催されることが発表され（5ページ参照）、全国中央会の森会長から宮城県中央会の佐藤会長に大会旗が継承された。

その後、豊永厚志独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長が万歳三唱を行い、閉会した。



大会旗継承 左から全国中央会の森会長・宮城県中央会の佐藤会長

Ⅲ 第74回中小企業団体全国大会決議

我が国は、人口減少と急速な高齢化など社会経済の構造的な課題に加えて、度重なる自然災害の発生、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化、国際情勢の緊迫化、原油・原材料価格や物価の高騰及び部品の調達難、最低賃金の引上げ等により、中小

企業・小規模事業者の経営において物価・賃金上昇分の価格転嫁が進まず、事業継続や雇用維持などに危機的影響を与えている。

中小企業・小規模事業者は、これまでも幾多の困難に見舞われてきたが、そのたびに中小企業組合等連携組織の下に力を結集し、これを打破してきたところである。これまでの困難な局面において、中小企業組合等が果たしてきた役割を改めて想起し、中小企業・小規模事業者が直面する数々の課題を、中小企業組合等の連携力で解決していくことが必要である。

さらに、中小企業・小規模事業者がこの難局を乗り越え、地域経済を支え続けるためにも、中小企業・小規模事業者が協同して経営資源を補完・補強し合うことが効果的であることから、これを支援するため、国等からの迅速かつ手厚い支援策が不可欠である。

このため、国等に対し、長期化する新型コロナウイルス感染症への対応や原油・原材料価格の高騰などで困窮する中小企業・小規模事業者が、中小企業組合等連携組織の下で、安心して事業継続を行うことができる環境整備や取引適正化を進めるとともに、DXやカーボンニュートラルの推進、新分野展開などの事業再構築等を円滑に取り組むことができるよう、一層の支援を行い、ひいては、中小企業・小規模事業者の持続的な成長と豊かな地域経済社会の実現を図るべく、全国の約3万の中小企業組合等からの生の声である本決議事項の早急な実現を強く求める。

第74回 中小企業団体全国大会決議 【重点事項】

I. 中小企業・小規模事業者等の経営強靱化・成長促進支援等の拡充

1. 現下の危機的課題の克服に向けた経済再生支援策の拡充強化

- (1) 急激な原油・原材料・資材等の価格高騰の影響で経営が逼迫する中小企業・小規模事業者及び組合等への支援の拡充
- (2) エネルギーや原材料の安定供給対策の速やかな実行
- (3) ポストコロナを見据えた事業者支援策の着実かつ迅速な実施、国内需要・消費の喚起、経済を加速させる大胆な経済対策の実施

2. 中小企業・小規模事業者の成長促進、持続的発展に向けた支援強化

- (1) 「ものづくり・商業・サービス補助金」の継続・拡充、支援体制や要件等の見直し

- (2) 中小企業団体の共同学習機能を活かしたりリスクリング教育（職業能力の再開発）環境の整備

3. 中小企業団体中央会の指導體制・支援機能の抜本的強化、中小企業組合制度の拡充・改善

- (1) 中小企業団体中央会の指導體制の抜本的強化、支援実施のための安定的な予算の確保・充実

4. 地域経済の好循環の推進、地域課題の解決

- (1) 地域資源の積極的活用、実態に即した地域経済の再生・活性化に向けた施策の強力な推進

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 中小企業の人材育成・確保・定着対策

- (1) 中小企業の雇用安定のための支援策の充実
(2) 中小企業の人づくり支援の強化

2. 新型コロナウイルス感染症の影響長期化に配慮した社会保障制度の見直し

- (1) 雇用保険財政運営の抜本的な見直し
(2) 雇用保険料率の引上げ回避
(3) 雇用保険二事業の事業費管理の徹底・大幅な見直し

3. 外国人技能実習制度と特定技能の見直し

- (1) 技能実習と特定技能のすみわけの実施
(2) 外国人技能実習機構の体制整備、事務手続の簡素化・迅速化
(3) 監理団体の許可基準等、運用の明確化
(4) 業界ニーズを反映した技能実習2号移行対象職種の拡充等

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充

- (1) 新型コロナ対策の金融支援策の継続・拡充・条件緩和、借入金の負担軽減、各種支援窓口の充実・強化、手続の簡素化
(2) 資本金劣後ローンの取組み強化のための要件の見直し
(3) 多重債務問題軽減のための利子負担の軽減や高度化資金の減免、商工中金・日本政策金融公庫等が借換え等に応じやすくするための措置

2. 中小企業・組合税制の拡充

- (1) 中小法人・組合の法人税率の軽減措置の適用期限延長、税率引下げ、適用所得金額の撤廃・恒久化

- (2) 「インボイス」導入延期、十分な支援策の実施、事業協同組合特例創設

3. 中小製造業等の持続的発展の推進

- (1) 「ものづくり補助金」の継続、拡充、要件の緩和、特別枠の追加措置、申請手続きの簡素化、フォローアップ支援事業の継続・拡充
(2) 「事業再構築補助金」の要件緩和・対象範囲拡大等、運用の弾力化
(3) サプライチェーンの強靱化、下請取引の適正化、下請法の厳正な運用

4. エネルギー・環境対応への支援の拡充

- (1) 電力の安定供給と電力コストの負担軽減の対策強化
(2) 先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金の継続、拡充
(3) カーボンニュートラル達成に向けて取り組むために必要な支援措置

5. 卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充

- (1) 商店街及び個店を含む地域の事業者に対する長期的な支援措置、補助金等の要件緩和措置
(2) キャッシュレス決済普及推進のための支援策の強化・拡充

6. サービス業支援の強化・拡充

- (1) 観光・イベント関連業等へ強力かつ長期の消費、需要喚起等支援措置
(2) 物流効率化、地域医療サービスの充実、トラックドライバー等の労働条件の改善に寄与する高規格幹線道路網の整備拡大

7. 官公需対策の強力な推進

- (1) 緊急随意契約・前倒し発注の実施など官公需適格組合等の積極的活用、災害協定等締結等への官公需適格組合等への優先発注
(2) 予定価格積算の調査・額の決定方法の統一、働き方改革関連法に対応した必要経費の適切な計上
(3) コロナ禍対策としての納期や工期の柔軟な設定、発注機関からの一方的な減額要請の禁止
(4) 少額随意契約の正確な広報、消費税率引上げ等を勘案した適用限度額の大幅な引上げ

誌面の都合で項目のみの紹介となりますが、決議の全文は、全国中小企業団体中央会のホームページ<https://www.chuokai.or.jp/>または、茨城県中小企業団体中央会ホームページ<https://www.ibarakiken.or.jp/>をご覧ください

大会宣言

宣言

本日、中小企業団体の代表は、“つながる ひろげる 連携の架け橋”を希望の未来 中小企業「光」を結集し、をテーマに、ここ長崎県長崎市に集い、約三万の中小企業組合等の総意を取りまとめ、その実現に向けて、共に取り組むことを決議した。

中小・小規模事業者は極めて厳しい経営状況に直面しており、ウクライナを取り巻く不安定な国際情勢の深刻化、物価・原油価格の高騰及び部品の調達難などにより、新たな経営課題への対応に追われている。その努力が一刻も早く報われるよう、国等に対して、効果的なコロナ対策や手厚い総合経済対策を引き続き要望するとともに、次のスローガンのもと、本大会の各決議事項の早期実現を強く求めるものである。

- 一、成長と分配を実現させる中小・小規模事業者対策の強化
- 一、高騰するエネルギー・原材料価格の適正な転嫁と安定供給の拡充
- 一、未来への変革・挑戦を可能とする投資促進対策の拡充
- 一、震災復興、豪雨・風水害対策の拡充
- 一、地域の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- 一、中小企業組合等連携組織対策の拡充

本日参集した一同は、厳しい経営環境を克服するために一歩でも前に力強く前進すべく、中小企業組合等連携組織の強みを最大限に発揮し、積極果敢に行動することを決意する。

右宣言する。

令和四年十一月十日
第七十四回中小企業団体全国大会

第74回中小企業団体全国大会 被表彰者のご紹介（茨城県関係者）

表彰式では、優良組合40組合、組合功労者74名、中央会優秀事務局専従者27名の表彰が行われ、本県からは、優良組合として、茨城県石材業協同組合連合会が表彰されました。誠にありがとうございます。(15ページにインタビュー掲載)

優良組合

茨城県石材業協同組合連合会

会 長 富田 政男
設立年月日 昭和56年12月1日
組合員(会員)数 3組合
専従者数 2人
主な共同事業 ①共同宣伝、②共同受注斡旋、③共同販売



昭和56年、真壁・羽黒・稲田の石材業協同組合により当連合会を設立。本県の石材産地振興・販路拡大を図るための首都圏販売業者向け「産地内覧会」や県産石材の普及促進を図るため「いばらきストーンフェスティバル」を開催。県・市と官民一体となった広報活動や県内石材産地業界の指導を行うなど、地場産業の振興発展に尽力している。

次回の「第75回中小企業団体全国大会」は、宮城県仙台市で開催されます。

開催日時 令和5年(2023年)10月11日(水) 14:00~16:30(予定)
開催場所 仙台国際センター 展示棟 (宮城県仙台市青葉区青葉山無番地)
主催 全国中小企業団体中央会 宮城県中小企業団体中央会

第74回中小企業団体全国大会・茨城県中央会長崎ツアーにご参加いただきありがとうございました。

第74回中小企業団体全国大会は、本県からの参加者31名を含む全国の中小企業組合の代表者等約2,000名が参集し、盛会に開催されました。本会では会員の皆さまの利便と親睦を図るため、大会参加と宿泊、懇親会等を盛り込んだ「茨城県中央会・長崎ツアー」を開催しました。

阿部会長をはじめ20名が参加し、3日間交流・親睦を深め合いました。

